

# 子易神社子安観音坐像(こやすじんじゃ こやすかんのんざぞう)

板橋区登録有形文化財(彫刻) 平成4年2月28日登録

子易神社は、富士浅間神社の御分かんじょう霊を勧請したもので、江戸時代以来地域の鎮守として住民の崇敬を集めています。現在、境内で祀られている子安観音坐像は、江戸時代に当社の別当寺であった福正寺の観音堂で祀られていたもので、明治初年に同寺が廃寺となった際に当社へ移されました。

同像は、蓮華座の上に結跏趺坐し、全体に金泥彩こんでんさいが施され、眉に墨、唇に朱がさされ、銅製の宝冠や胸飾りを付けています。そして膝の上には彩色された幼児いりもやつくりを抱えています。入母屋造の厨子ずしの中に安置されていますが、その屋根裏には墨書で明和2年(1765)11月16日に氏子たちが願主となり、開眼供養が行われたことが書かれています。また、厨子の垂れ幕にも、同年赤坂氷川前(現、港区赤坂六丁目)の山城屋清吉が奉納したと墨書されており、信仰範囲の広さをうかがわせます。



所在地：板橋区板橋 2-19-20 (子易神社)  
交通：東武東上線「大山」駅徒歩8分  
国際興業バス「大山東町」徒歩2分  
[高島平操車場・  
舟渡町⇄池袋駅西口 (池20・21)]